

# 提 案 の 概 要

施設名： 笠 寺 福 祉 会 館

団体名： 南 区 社 会 福 祉 協 議 会

## 1 福 祉 会 館 業 務

### (1) 管 理 運 営 全 般 に つ い て

#### ① 施 設 管 理 運 営 の 基 本 方 針 等

高齢者が健康で快適な生活を住み慣れた地域で過ごすことができるように運営します。

- (1) 心身ともに健康で過ごせるための講座、同好会を支援します。
- (2) 生活に潤いが持てるよう趣味と生きがいづくりを応援します。
- (3) 講座や同好会に参加することにより仲間づくりを応援します。

#### ② 管 理 運 営 体 制 ( 職 員 配 置 及 び 人 材 の 確 保 ・ 育 成 計 画 等 )

名古屋市社会福祉協議会の一括採用によるスケールメリットを活かした職員採用により、経験豊富な職員と専門スキルを習得した職員を配置します。

##### (1) 配 置 職 員

館長 1 名	高齢者福祉と施設管理等に実務経験のある職員
事務職員 1 名	社会福祉士等資格保有者
健康支援スタッフ 1 名	看護師等資格保有者
生きがい支援スタッフ 1 名	介護福祉士等資格保有者

##### (2) 職 員 の 育 成

区社会福祉協議会と市社会福祉協議会と共同で実施する専門研修に参加し専門性を高めます。また、担当者会や情報交換会などでサービスの向上を図ります。

### (2) 事 業 運 営 の 実 施 計 画 に つ い て

#### ① 生 活 相 談 及 び 健 康 相 談

生活相談については、福祉事業の経験豊富な職員により利用者から申し出があれば常時、生活相談を受付します。また、会館内で解決できない内容については関係機関に調整したり連絡を行います。

健康相談については、市医師会南区支部の協力を得て月 2 回嘱託医による健康相談を実施します。

#### ② 教 養 の 向 上 及 び レ ク リ エ ー シ ョ ン 等 に 関 す る 事 業

高齢者の生きがいや楽しみの活動の支援を行っています。

講座は月 1 回、もしくは 2 回単位で 12 講座実施しています。

講座の修了者等を中心に 32 同好会が結成されています。福祉会館として同好会の運営がスムーズにいくよう支援します。

その他、ボランティア養成講座の開催や公的機関と連携して、地域で安心して生活するために必要な講座を開催します。

### ③機能回復訓練の実施

高齢者が充実した生活を過ごせるように介護予防の視点で機能回復訓練事業を行っています。身体的なものについては、リハビリ体操（講座）・健康体操（講座・同好会）・ストレッチ（同好会）・ヨガ（同好会）を実施しています。認知症予防の観点では、回想法スクールを開催します。

### ④その他事業

#### （１）健康づくり

健康づくり・介護予防の拠点として、関係機関と連携して「口腔ケア」「栄養」「脳の健康度チェック」「認知症サポーター養成」などの講習会を開催します。

#### （２）仲間づくり・憩いの場

利用者に講座や同好会、その他自由利用施設の利用により仲間づくりを支援します。また、ボランティアグループ運営による「喫茶ひまわり」を月３回開催し利用者の憩いの場を提供します。

#### （３）その他の活動

##### ①地域福祉の拠点

「名古屋市南部回想法センター」を拠点に回想法ボランティアを育成し、「回想法スクール」などの講座を実施します。

##### ②世代間交流

利用者と地域の保育園児と交歓会を実施します。福祉会館と児童館の共催行事を実施します。また、地域の小中学校等へ出張して「お出かけ回想法」や「伝承遊び」などの企画を実施します。

##### ③「福祉会館めぐり」（仮称）

高齢者の外出の機会を増やすとともに、他区の福祉会館を知ってもらうために「福祉会館めぐり」（仮称）を実施します。

##### ④その他

地域の商店街と連携して「昭和レトロ横丁」・「かんでら寄席」を開催します。

### (3) 収支計画について

#### ①管理運営にかかる費用等

##### 人件費について

安心・安全かつ安定的な施設運営と、福社会館の設置目的の達成のためには、人材の定着によるノウハウの蓄積、継続的な育成が欠かせません。本会では、このような視点から、豊富な実務経験や必要な資格を持つ専門職を安定的に確保するのに必要な人件費について、限られた予算の中、経営の効率性を図ることで、前回の申請時と同額を積算しています。

(平成 28 年度予算 23,081 千円)

##### 物件費について

###### (1) 報償費

現在、12 講座開催していますが利用者からおおむね好評を得ています。さらなる改善のため、単発講座を月 1 回以上開催し利用者の要望等を確認し翌年度以降の講座運営に役立てていきます。(平成 28 年度予算 3,804 千円)

###### (2) 需用費

利用者が福社会館で快適に過ごせるような配慮を考えながら支出します。ただし、消耗品や光熱水費等については、再利用やこまめなチェックなど行い適切な経費の執行に努めます。

特に、今後の需用費の節約のため、計画的に蛍光灯を LED 電灯に更新していきます。

(平成 28 年度予算 3,116 千円)

###### (3) 委託料

笠寺福社会館は昭和 44 年開設のため老朽化しているため建物や設備の保守管理については適切に実施し不具合の早期発見、改修に努めます。(平成 28 年度予算 3,651 千円)

###### (4) その他の経費

市社協で一括して行う研修費や区社協事務局における事務負担にかかる間接経費（フルコストリカバリー）・市社協共通経費として支出します。

(平成 28 年度予算 1,480 千円)

###### (5) 小規模修繕費

保守点検の結果等に基づき計画的に修繕を実施していくため一定の修繕費が必要となります。特に、床、壁、水回り等については順次整備していきます。

(平成 28 年度予算 1,900 千円)